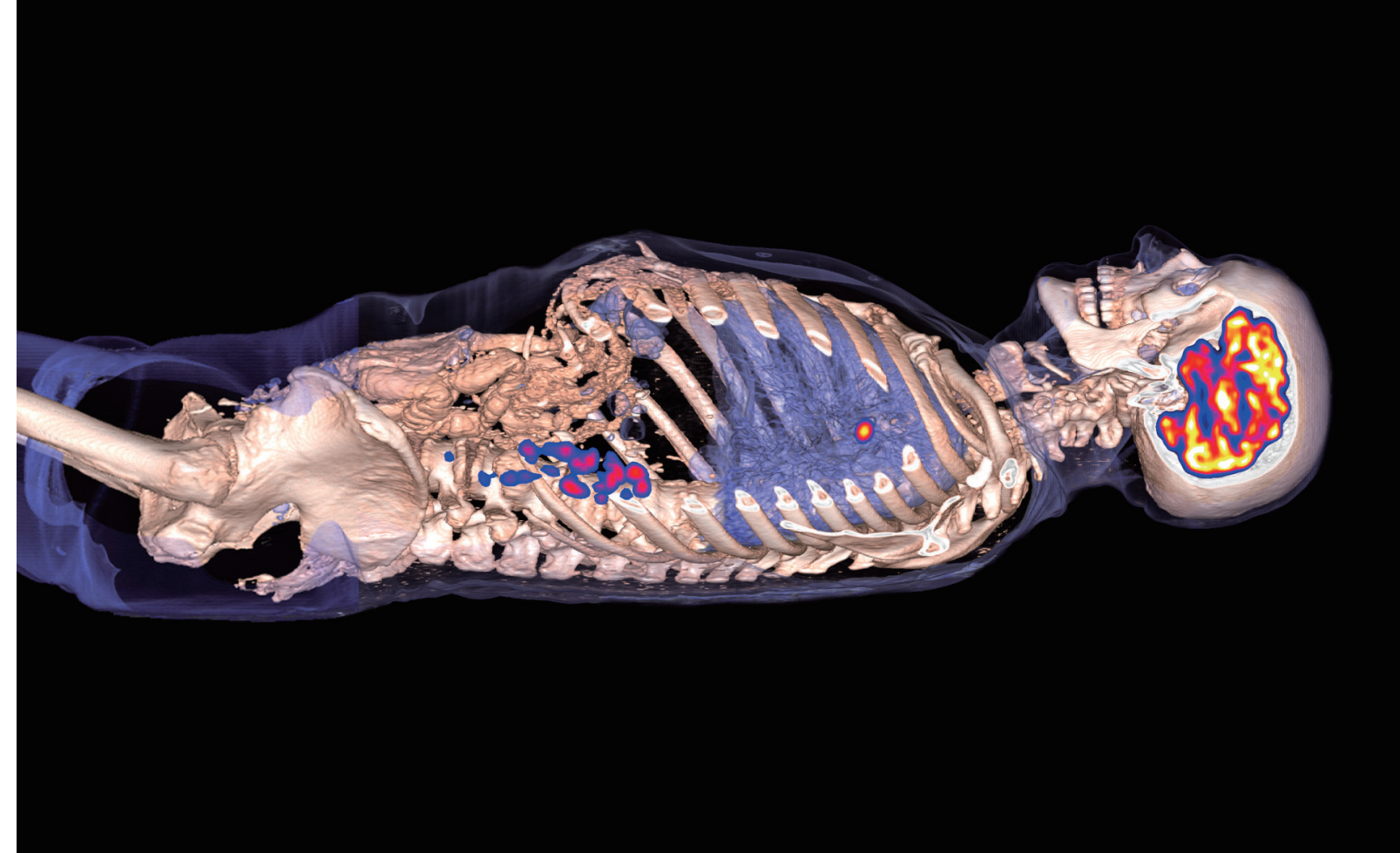




FlowMotion Advanced PET・CT Acquisition Technology

www.siemens-healthineers.com/jp

製造販売業者
シーメンスヘルスケア株式会社
〒141-8644
東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー

本カタログに関するお問い合わせは、
下記電話番号までお願いいたします。
TEL 0120-041-387
仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。なお、本カタログにはオプションが含まれています。
詳しくは担当営業におたずねください。

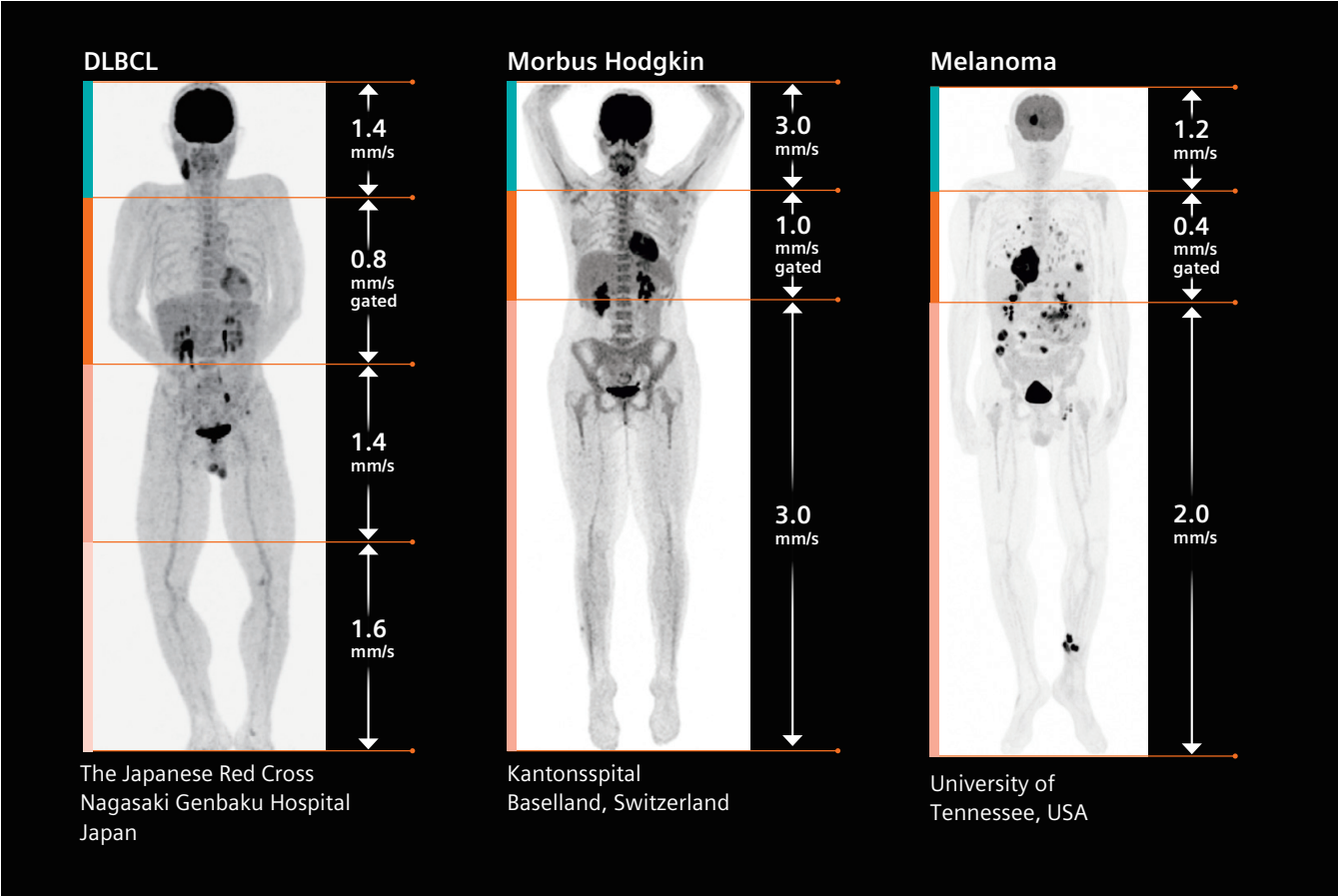
S-799(1912GPJ3K)

X線CT組合わせ型ポジトロンCT装置
バイオグラフィ ホライズン
認証番号: 227ADBZX00164000
バイオグラフィ mCT
認証番号: 221ADBZX00015000
クラス分類: 管理医療機器(クラスⅡ)
特定保守管理医療機器: 該当
設置管理医療機器: 該当

撮像範囲も時間もオーダーメイドできる

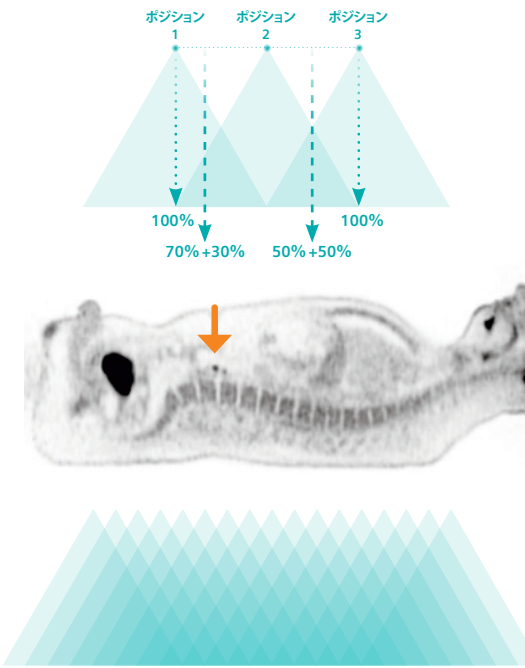
世界初*の速度可変型寝台連続移動によるPET全身撮像技術

一般的なStep&Shoot撮像では、装置側の制限により任意の撮像範囲は設定できないため、必要のない範囲まで撮像するケースがありました。FlowMotion 技術は、必要最小限の範囲設定を可能にし、短時間PET撮像設定に自由度をもたらします。また、CT撮影範囲もPET同様に設定できるため、被ばく低減にもつながります。さらに速度可変技術により、任意範囲での目的別撮像が可能です。



定量的な再現性の高さ

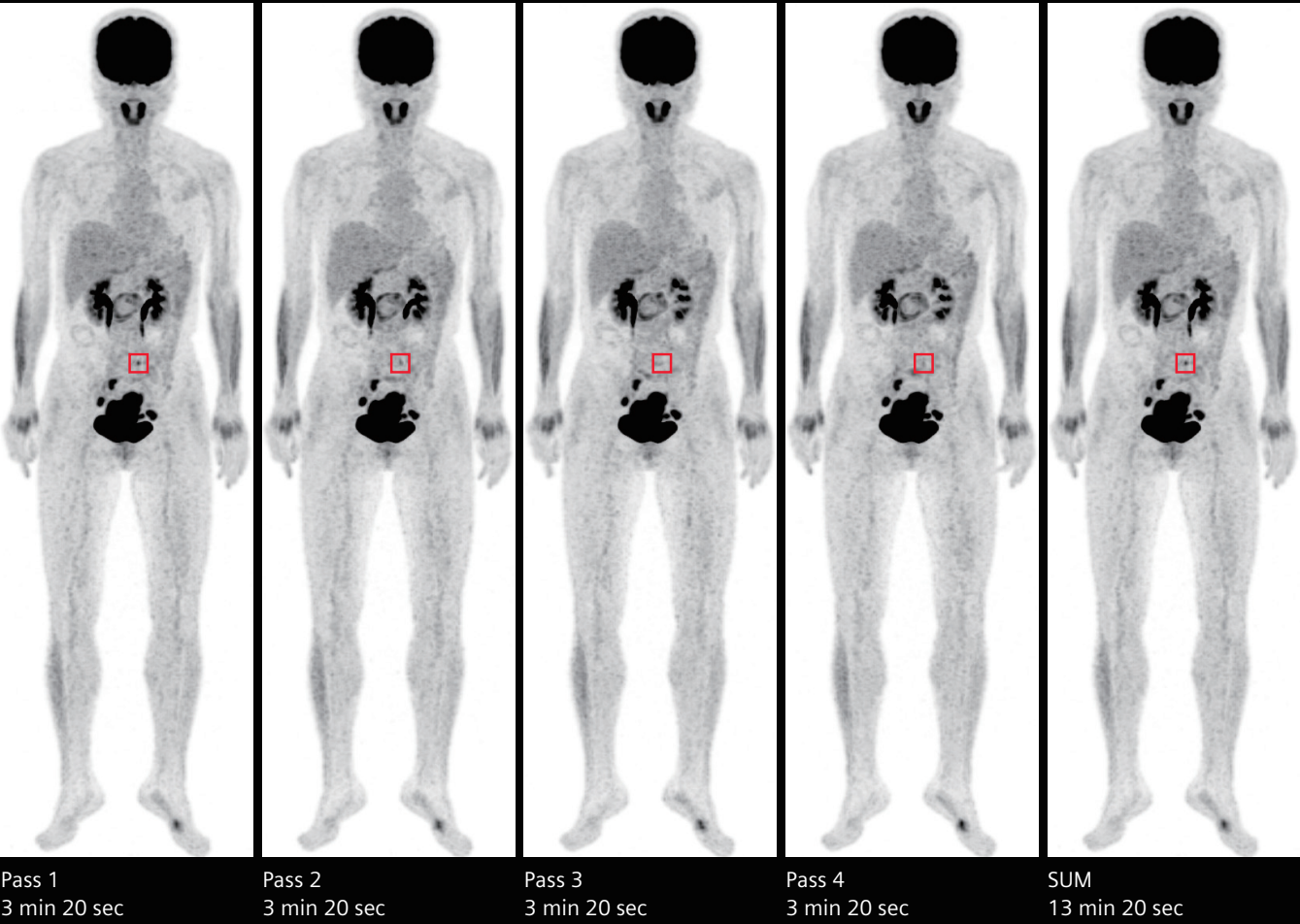
PET検出器感度は有効視野中心が高く辺縁が低いため、感度分布は三角形になります。不適切なオーバーラップでは不均一となりますが、最適化したオーバーラップに固定することにより、Step&Shoot撮像において均一なSNRが得られるように工夫されています。最適なオーバーラップで常に合計100%とすることで均一性を図っていますが、検出器位置により僅かにSNRが異なります。FlowMotion技術では、同一速度で撮像することで、検出器位置に関わらず、Absolute(完全)な均一性を再現できます。早期像と後期像や、治療前後の撮像およびモニタリングにおいて、Step&Shoot撮像で生じていた撮像時の検出器位置による、僅かなSNRの違いが原因でおこる再現性の課題を解決します。



* 自社調べ (2019年12月現在)

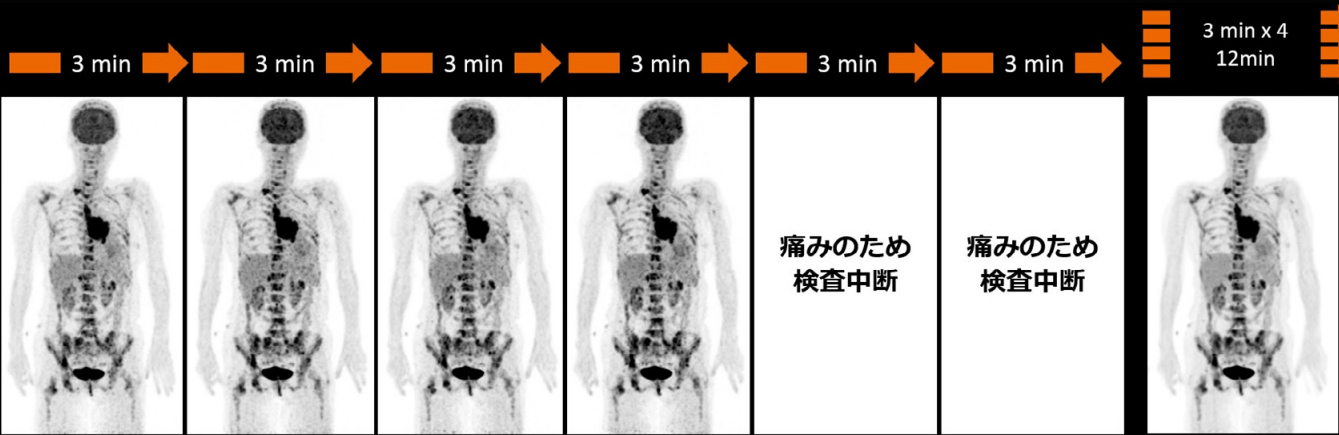
Whole-body Dynamic Imaging

FlowMotionを活用した新しいアプローチ



画像提供：京都府立医科大学附属病院

リニアモータ駆動での速度可変型寝台連続移動撮像技術 (FlowMotion) の新しいアプローチは、全身を数分で繰り返し撮像します。繰り返し撮像した各Passを再構成し、シネ表示することで生理的集積が腫瘍かの判断に役立ちます。



画像提供：函館五稜郭病院

最大の特徴は、各PassをRaw Dataの段階で選択的に加算し再構成ができることです。検査途中で動いてしまった場合も、動きのないPassを加算し再構成でき検査不成立を防ぎます。